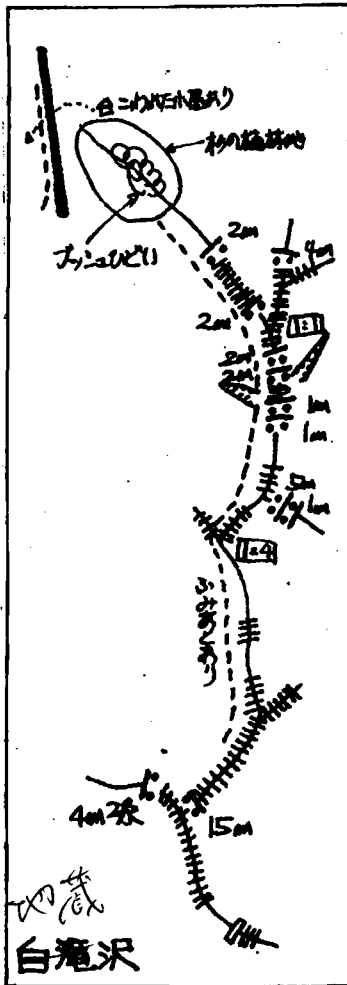


地蔵
白滝沢

1983年5月21日

虫)



観音堂沢右岸の林道から藪をこいで白滝沢出合より少し下流に降り立つ。白滝沢出合の滝は、滝水が白いスダレをかけたようできれいである。この滝をみて白滝沢と名づけたのなら、なるほどと納得する。観音堂沢本流の方も2条の滝（右岸の用水路からあふれた水が滝のようになって落ちていて、一見3条の滝に見える）がかかっている。

13:40白滝沢の遊歩開始。出合の滝は右岸を捲く。バンドがたくさん走っているのので、トップロープを張っておいて直登に挑戦すると、登りきれのかもしれない。この滝の上はずっとナメである。沢幅が狭く水量にもめぐまれないが、ここらあたりの小沢はすべてナメがよく発達しているようだ。

30分程で二俣に出る。ここまでは小滝はあったが、障害となるものはなかった。左俣へとルートをとる。ナメが続いている。

間もなく杉の植林地へ出る。途中から主として右岸を走っていた踏跡はこの植林をする際に手入れされたものようだ。沢はブッシュがひどく、通過に意外と時間がかかるようになる。新しく成長したブッシュだけでなく、植林する前に切り張らわれた木々の枝などが沢を埋めているのである。最初は忠実に沢筋をたどっていたが、そのうち沢の流れもごく細くなったので、白滝沢の遊歩は終了として、植林帯の中の歩きやすい所を選んで尾根に出る。 ()

[タイム] 白滝沢出合(13:40)→遊歩終了(14:45)→尾根(15:20)

座頭沢

1983年7月10日

L

梨平から観音堂沢ぞいの林道を30分程歩くと、橋が2つあり、その2つ目の橋の